



平成元年3月23日
群馬県立
太田工業高等学校
同窓会
0276 45 4742

同窓会員の皆さまへ

副会長 松原 良之

今年の冬は例年にくらべ、雨の日が多く又厳しい真冬日という感じのする日が少なかった冬でしたが、会員の皆様お元気で御活躍されている事と御推察申し上げます。

同窓会々報も回を重ね、今回の発行で第一八号となりました。「会報」と辞書をひいた所会員に知らせるべき報告事項(を記事とした雑誌や印刷物)と書いてあります。

この会報は、こういう意味合の物であり、太工同窓会々員の大きな歴史であります。

私事ですが、太工同窓会々報というファイルが作っており、発行されるたびに前の物を懐かしく見ながら綴じており大切に保管しております。又同級生が来た時には、時々持ち出し学生時代の、昔話しに花を咲かせております。

会員の皆様会報が届いた時には

ぜひ保管し、小冊子としては如何でしょうか。

話しは変わりますが、皆様すでに御存じかと思いますが、学校の全面移転が行なわれます。

移転先の場所は、現校舎から約四キロ東方の田園地帯、茂木地区であります。私達卒業生にとっての母校は、太田市内ヶ島という地名から離れ何か複雑な気が致します。

私は8月の休みの日、妻と子供達を連れ、移転先の場所と現校舎を見て廻ってまいりました。移転先はまだ造成工事中でしたが、環境的には東方がずいと田んぼが広がり閑静な場所であり、敷地は現在地より一、五倍だそうで校舎及びグラウンド等一回り大きくなります。情報技術科も新設され、より充実した学校へと発展していく事を期待致します。現校舎では後輩達がグラウンドにてラグビー及びテニス部員が暑い中一生懸命練習に励んでおりました。同窓会の発展

も会員皆様の団結と協力、今後共御協力を心からお願ひ申し上げる次第で御座居ます。

新校舎移転

事業にむけて

校長 内田治太郎

太田工業高校の新築移転工事に、かゝる、安全祈願の神事が、去る八月二十五日にとり行われしました。来賓の祝辞に、創立以来、二十七年間に輩出された、太工卒業生の活躍ぶりが賞賛され、ご同慶のいたりです。

我が国に、工業化の波が大きく立ち始めた頃、太田市の遠大な期待を担って創立された、太田工業高校の使命は重大でした。太田市の希望通り、今や北関東一とも言われる工業地帯にあって、卒業生が幾多の実績をもって、深く貢献していることに、思いを寄せると、感慨無量です。これからも、工業高校卒業生の大きなエネルギーが、産業界の底流を支えて君臨することを信じています。さて、太田市では、市制四十周年を機に、ハイテクと文化の街を創造し、一層の飛躍を旨とすときいています。それに呼応すること

く、太田工業高校が、二十七年の伝統のうえに、茂木地区に新築移転することは、意義深いものと思えます。

既に、すべての設計を終え、市内四業者(石川、石橋、桐生、守屋の各建設会社)に、工事発注が行われ、今年三月二十日を目途に工事が行われます。

校地面積五七〇〇〇平方メートル、管理特別教室棟(四階)、教室棟(二十四教室、三階)、実習棟(二棟、各三階)、体育館(セミナーハウス付、二階)、部室等が建設されます。校庭は、三五〇メートルを持つ陸上競技場、フィールドでは、サッカー・ラグビーもできます。硬式野球場や軟式庭球場(四面)もできます。植樹計画は、現在地から約二七〇本の樹木を移動し、これを基本にした配置が設計されています。特に新しい実習設備として、電子計算組織(二式)、ホストCAD、パソコンCAD、マシンプロセッサ、ロボット、旋盤、製造プラント、レーザー加工機、万能製図台(二製図室分)をはじめ、各科の実習装置も、大幅に新規導入されます。これらの活用は、すべて教職員の研究成果にかゝっています。本校では、二年に渡り、新進機鋭な

平成元年3月23日

十数名の職員を迎えることができ
ました。学校が飛躍する大きなエ
ネルギーとして期待してください。

さて昨今、中学生の普通高校志
向が目立ちます。大企業でも、高
学歴採用が見えはじめました。し
かし、地元企業では、太工に期待
をかけてくれています。今春の高
校入試では、県内各工業高校で、
一部定員を割っています。こんな
中で、やがて、中学生の急減期が
目前にせまっています。

本校の新築移転と、情報技術科
二学級増は、中学生急増対策の、
群馬県最後の施策であります。そ
のため、地元太田市にも、多方面
にわたり、お世話になっています。
学校としては、この一大事業完
成と、今後の発展のために、精根
をつくす覚悟であります。

同窓の諸氏におかれましては、
母校への提言とともに、今後とも
絶大なるご援助、ご協力を賜わり
ますよう、重ねてお願い申しあげ
ます。



「モスクワを走る」

第四期生 橋本賢一

東武鉄道株
春日部電車乗務区

ソ連全ソ労評の招待を受け、総
評代表の一人として、モスクワで
の第38回トルード杯マラソン大会
に参加する機会に恵まれました。

団長一人、選手三人で7月15日
涼しい梅雨空の成田から空路10時
間で着いたモスクワ・シェレメチ
ェボ空航は、日差しが強く暑い。

白夜に近く、23時やっと暗くなっ
てくる。そして、たった5時間の
時差だが体のリズムがずれる。

16日は各国選手と「赤の広場」
見学と、バスでコースの下見。

そして17日、快晴。30度を越す
暑さの中で11時、30キロレースの
スタート。15の招待国と、ソ連15
共和国の各代表で女子も含め約300
人の参加。国別対抗でもあり、レ
ベルの高い大会で私の走力ではど
うにもならない。おまけに暑さと
時差のためか体調も悪く、後半は
ガックリとペースダウン。数人の
女子にも先行され、やっとの思い
でゴール。1時間58分台と不満足
なタイムで、順位も不明。

モスクワ川沿いの緑の多い街中
の素晴らしいコースを、3人共2時
間以内で完走したが、国別対抗で
は下位に甘んじてしまった。

レース後はホテルに戻り、レセ
プション。各国の選手、役員との
立食パーティーで和やかに親交を
温め、翌18日のモスクワ川遊覧船
の旅も、レース後のホッとした雰
囲気の中で楽しく交流を深める。

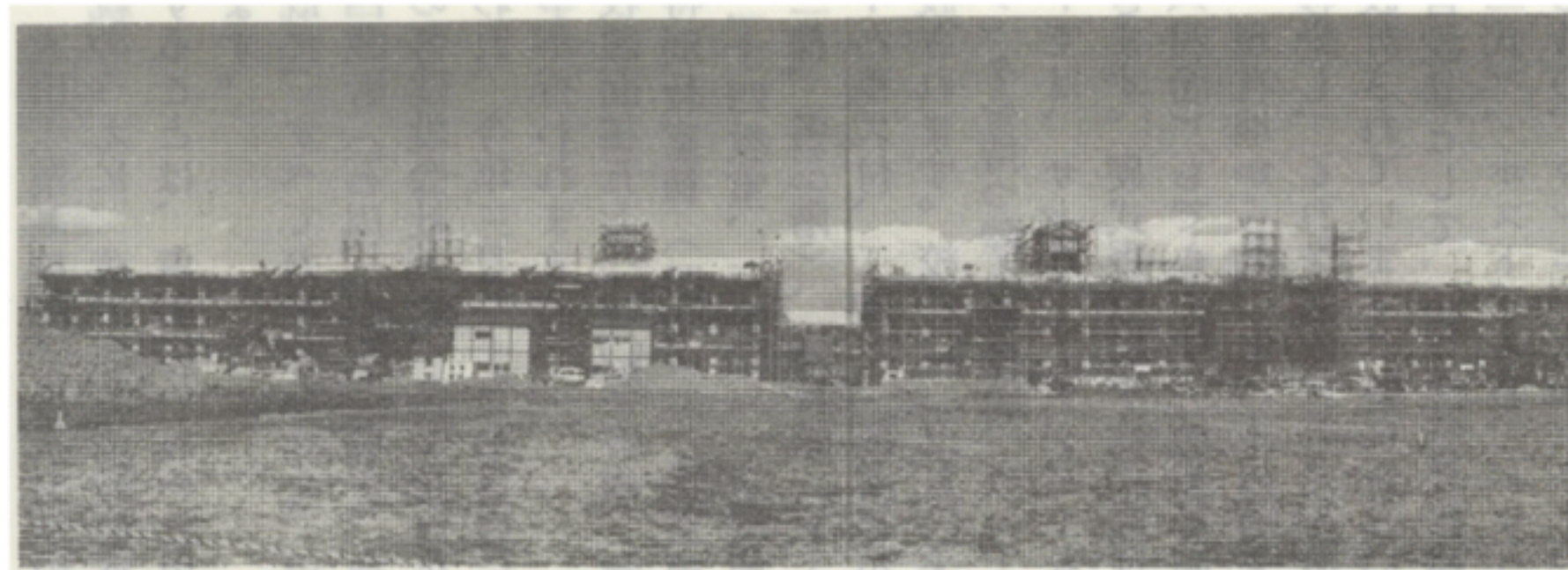
そして19日から過したレニング
グラードでの3日間は、モスクワの
疲れを充分にいやしてくれました。

街全体が中世そのまま、美し
さと落ち着きを秘めたたたずまい。
そして、エルミタージュ美術館も
見学でき、ホテルも17世紀の建物
だったりと感激することばかり。

モスクワやレニンググラードで目
にした宮殿や寺院は、大きさや造
形美に圧倒させられ、中の装飾品
や壁画の美しさ、みごとに言葉
なく、ただ溜息の連続。それは、
当時のロシア帝国の絶大な権力と、
その陰で多くの人々がどれ程苦し
められたかも想像させられる。

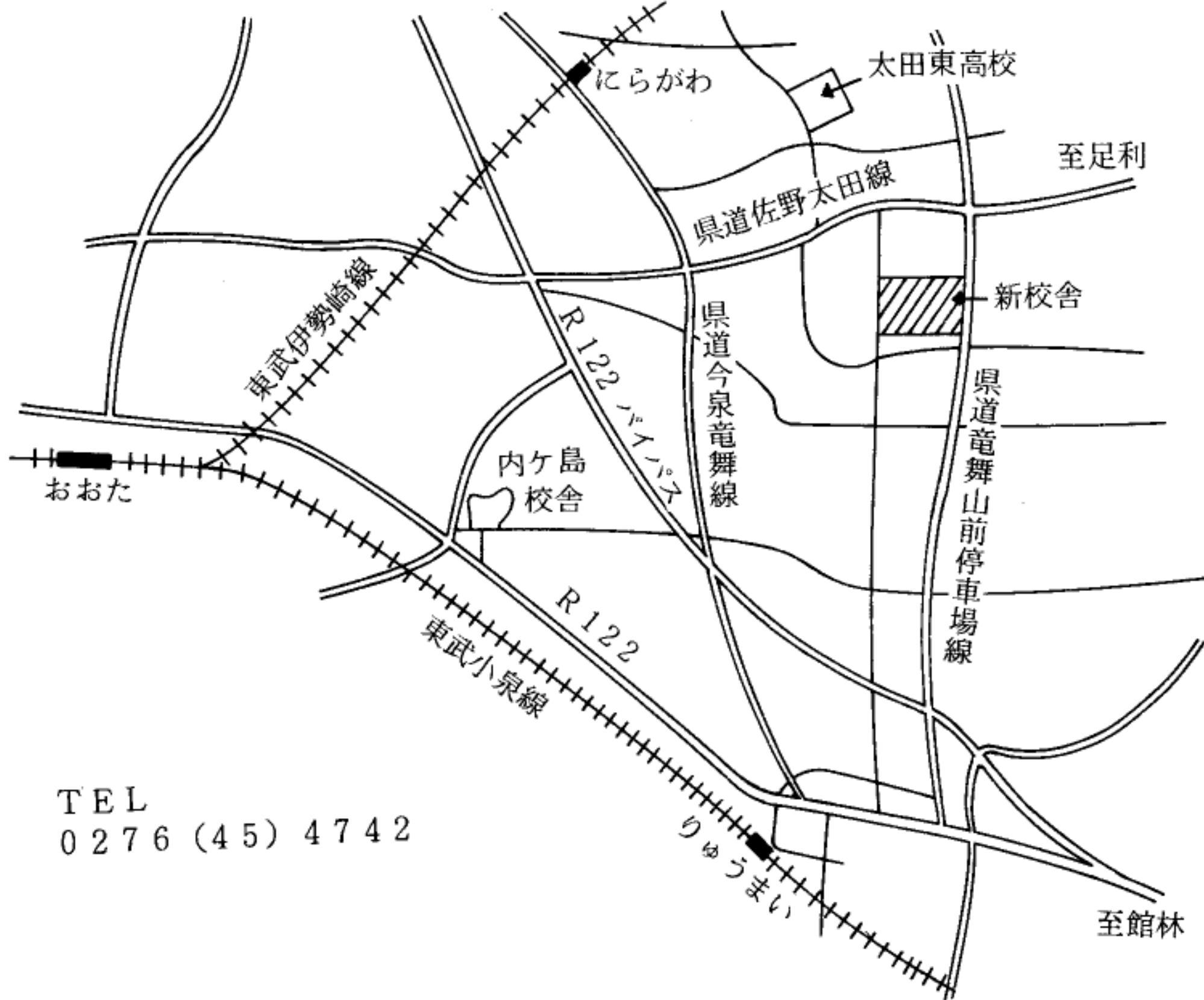
レニンググラードは、第二次大戦
でドイツ軍の攻撃により、それら
の建物も大被害を受け、きめ細か
い修復作業が現在も続けられてい
た。戦争は、人間や生物だけでなく
貴重な文化も破戒してしまう。

建設進む新校舎



入社して、社内駅伝をきっかけ
に走り続けて20年。継続は力でしょ
うか、昨年選ばれて青・東駅伝初
出場。そして今回の素晴らしい経験
をさせていただき、いつも迷惑を
かけっぱなしの妻を初め、家族の
協力に大変感謝しております。

(3)



新校舎建設地略図
 太田市茂木三八〇番地

TEL
 0276(45)4742



昭和62年度卒業生(第24回)就職事業所

会社名	M	E	C	計	会社名	M	E	C	計	会社名	M	E	C	計
(太田、新田)					仲川工業所			1	1	小倉クラッチ			1	1
富士重工業	8	9	7	24	ホンダ総合自動車	1			1	日本電子機器	1	1	1	3
オカモト	1		2	3	小計	29	24	21	74	小計	4	2	6	12
荻原鉄工	2	1	1	4	(館林、邑楽)					(前橋、高崎)				
沢藤電機				1	三洋電機	1	1	1	3	自衛隊	2	4		6
新潟潟鉄工	1			1	宮津製作所	1	1	1	3	東京電力	1	2		3
大隅樹脂	1	2	2	5	橋本フォーミング			1	1	小計	3	6		9
群馬NEC		2		2	日東電機		2		2	(東京)				
東亜工業			2	2	日本ラジエータ	1	1	1	3	鈴木電業		2		2
石原プラスチック			1	1	富士通	2	2		4	肉の万世道		1		1
明電舎	2	3		5	タマポリ			2	2	東武鉄道		1	1	2
フセラシ		1		1	凸版印刷			1	1	小計	0	4	1	5
しげる工業	1			1	日鉄防蝕			1	1	(栃木)				
赤城食品			1	1	日本キャンパク			2	2	タツミ製作所		1	1	2
フランスベット	1			1	雪印乳業		1	1	2	両毛丸善		1		1
ジャパンメタル	1			1	味の素食品	1		2	3	杏林製薬			1	1
三和シャッター	1		1	2	森六	1	1	2	4	一茶庵			1	1
太田市役所	1	1		2	日興リカ			1	1	小計	0	2	3	5
本島病院	1	1		2	三吉電機		3		3	(埼玉)				
渡辺パイプ	1			1	東洋電化			1	1	アトム化学塗料			2	2
双葉オート	1	1		2	日本結晶光学			1	1	東京化成工業			1	1
石井工業所			1	1	日清防			1	1	巽エンジニアリング		1		1
メガネトップ			1	1	山村硝子			1	1	アサヒゴム			1	1
松本樹脂			1	1	小計	7	13	19	39	小計	0	1	4	5
竜舞プラスチック	1			1	(伊勢崎、桐生)									
飯田モータース	1			1	沖電線			1	1					
ユニバースオート	1			1	岩瀬産業	1			1	合計	43	52	54	149
フジオカ製作所		1		1	東芝映像機器	1	1		2					
プロマックス		1		1	群積工業			2	2					
コクヨ配送	1			1	伊藤鉄工所			1	1					
新洋酸素	1			1	前山電具製作所	1			1					

地域別の就職者

地域	就職者数				地域	就職者数				
	M	E	C	計		M	E	C	計	
県内	太田	2	5	2	1	2	0	4	1	5
	新田		4		2	1		2	3	5
	尾島		0		1	0		1	4	5
	大泉		4		6	1				
	館林		2		6	2				
	邑楽		1		1	5				
	桐生		1		0	1				
	伊勢崎		3		2	5				
	前橋		3		6	0				
高崎		0		0	0					
小計	4	3	4	5	4	6	4	1	14	
県外	東京				0		4		1	5
	栃木				0		2		3	5
	埼玉				0		1		4	5
	茨城									
	愛知									
	神奈川									
	千葉									
小計				0		7		8	15	
総計	4	3	4	5	4	6	4	1	14	

平成元年3月卒業生 (第25回)

三年生の内定会社名

(昭和63年12月末現在)

進路指導係より

群馬県内

会社名	所在地	M	E	C	会社名	所在地	M	E	C
凸版印刷	太田	1	2	3	マリン	太田	1	1	1
原馬	太田	1	1	1	津東	太田	7	7	6
沢富	太田	1	1	1	宮三	太田	1	1	1
日東	太田	1	1	1	富カ	太田	1	1	1
三倉	太田	1	1	1	新大	太田	1	1	1
雪明	太田	1	1	1	東東	太田	1	1	1
沖日	太田	2	2	1	ツ三	太田	2	2	1
日産	太田	1	1	1	川ジ	太田	1	1	1
日川	太田	1	1	2	三味	太田	1	1	2
古川	太田	1	1	1	東森	太田	1	1	2
群馬	太田	1	1	1	コ三	太田	1	1	1
新馬	太田	1	1	1	三マ	太田	1	1	1
東洋	太田	1	1	1	凸日	太田	1	1	1
加藤	太田	1	1	1	北海	太田	1	1	1
松水	太田	1	1	2	伊勢	太田	1	1	1
		1	2	2	鎌	太田	1	1	1
		1	1	1	東小	太田	1	1	1
					計		42	44	44

関東地区

三洋電	1	2	2	富十	1	1	1	2
日立	1	1	1	通川	1	1	1	1
パナソニック	1	1	1	化学	1	1	1	1
				工業	1	1	1	1
				電子	1	1	1	1
				計	3	7	6	6

東京地区

東武	1	1	1	長谷川	1	1	1	1
トキワ	1	1	1	香計	1	0	2	2
				小合	46	51	52	52

平成元年三月末現在で三年生の進路の概要を述べる
と、在籍二百二十三名、就職希望者は百五十七名(すでにすべて内定しており公務員三名、縁故就職二名他はすべて企業

関係)、四年制大学進学希望者十三名、短大進学希望者四名、各種専門学校進学希望者四十九名となっております。つぎに就職、進学に分けて若干説明致します。
先ず就職関係ですが、昭和六十三年度の就職状況は内需拡大、設備投資等で好転し、六十二年度に比べて県内・県外とも二・三割求人数は増加しました。
従って本校三年生の就職希望もすべて合格内定となっております。しかし、ここ数年來の就職状況の

特徴は次のようにみることが出来ます。経済の低成長と円高による輸出製品の減少による景気の低迷のため、量的な採用より質的な採用に変化し、FA化、OA化の進行のため、従業員の削減がどの職場でもはかられ、さらに定年制の延長や大学卒・短大卒等の高卒職場への進入のため高卒者の求人数が減らされている。従って、特に一・二年生の時の基礎学力や基本的な生活習慣をしっかり身につけることが肝要であると思われる。

三年生の内定会社名を別表に掲げますので参考にしてください。
次に進学関係についてですが本校生徒の場合、大学・短大進学希望者は殆んどが一般入学ではなく、推薦入学ですが、推薦入学でも内申成績と同時に英数理等の学力試験があり、その試験成績がよくないと合格しません。
毎年推薦入学で半数は不合格になりますから、進学希望者は、一年の時より、そのつもりで準備が必要です。現在合格が決まっている大学は、東京電機大一名、足利工業大一名、日本工業大一名、独協大学一名、高崎芸術短大一名、小山職業訓練短期大学二名等です。なお群馬大学工業短期大学部(夜間)に就職して進学しようとしている生徒も四・五名おります。

専門学校関係ですが、本校でもここ二・三年、卒業生の五十名位の生徒が専門学校に進学します。最近、専門学校は膨大な数があります。資格職得とか、技術を身につけると言っただけはつきりした目的をもって、しっかりと専門性を決定しなければならぬと思います。これまでは、専門学校は早く申し込み、大体合格しましたが、ここ一・二年は何人か不合格者が出ました。適正検査と基礎学

同窓会会員数

同窓会会員数

平成元年3月1日現在

卒業回数	卒業年月日	機械科	電気科	工業化学科	全日制 計	定時制 機械科	合計
1	昭和40.3.12	100	103	99	302		302
2	昭和41.3.9	108	106	101	315		315
3	昭和42.3.9	104	102	100	306		306
4	昭和43.3.9	103	98	102	303		303
5	昭和44.3.6	100	98	90	288	34	322
6	昭和45.3.6	98	91	93	282	39	321
7	昭和46.3.5	93	96	93	282	37	319
8	昭和47.3.1	93	92	91	276	35	311
9	昭和48.3.1	93	89	94	276	30	306
10	昭和49.3.1	91	91	86	268	21	289
11	昭和50.3.1	85	84	77	246	27	273
12	昭和51.3.1	80	80	78	238	19	257
13	昭和52.3.1	82	81	82	245	16	261
14	昭和53.3.1	79	79	78	236	24	260
15	昭和54.3.1	78	80	76	234	11	245
16	昭和55.3.1	76	77	66	219	8	227
17	昭和56.3.2	79	80	74	233	8	241
18	昭和57.3.1	77	76	75	228		228
19	昭和58.3.1	78	76	68	222		222
20	昭和59.3.1	79	79	77	235		235
21	昭和60.3.1	76	78	75	229		229
22	昭和61.3.1	77	79	74	230		230
23	昭和62.3.2	75	78	74	227		227
24	昭和63.3.1	76	78	76	230		230
25	平成元.3.1	80	68	74	222		222
合計		2160	2139	2073	6372	309	6681



力試験の結果からです。太田高等職業訓練学校でも不合格者が多した。本年度入学の決まった進学者数の多い専門学校は、埼玉工業大学専門学校、足利コンピュータ専門学校、日本工学院専門学校、群馬自動車整備学校、東日本電子専門学校等があげられます。

学校だより

職員異動 昭和六十三年四月

- 下山博康先生(工化)退職
- 柿沼美代子先生(事務)退職
- 原田実先生(社会)桐南高へ
- 石井利直先生(国語)館高へ
- 入山巖先生(機械)伊工高へ
- 石川康弘先生(英語)伊工高へ
- 真田郁夫先生(電気)福島工高へ

井上豊子先生(司書)西邑楽高へ
高橋君代先生(事務)高等養護へ

次の先生方は新任の先生です。

- 高野勝弘先生(工化)新任
- 鳥塚啓二先生(情技)新任
- 山形正高先生(電気)新任
- 堀本一郎先生(英語)新任
- 堀川宗雄先生(国語)新任
- 藤生卓也先生(工化)新任
- 諏訪正浩先生(保体)新任

編集後記

大変遅くなりましたが、皆様方の御協力により、会報十八号を発刊することができました。投稿を頂いた、諸先生方をはじめとして、皆様に紙面を借りまして厚く御礼申し上げます。なお、新校舎への移転は、管理棟、教室棟、実習棟は3月末完成予定で、4月上旬に行ないます。二階建ての体育館は5月頃完成の予定だと聞いています。同窓会員の皆様も、ぜひ新校舎へお立ち寄り下さい。(林記)

- 新井博之先生(電気)新任
- 河内康昭先生(機械)新任
- 小林一雄先生(社会)新任
- 恩田裕之先生(情技)新任
- 竹沢義衛先生(情技)新任
- 岡部恵介先生(数学)新任
- 藤井通義先生(事務)新任
- 田島篤先生(事務)新任
- 新井正幸先生(電気)新任
- 高木貞雄先生(理科)非常勤
- 田島勝美先生(理科)非常勤
- 下山博康先生(工化)非常勤